

もしも鳥インフルエンザが発生したら…

- 鳥インフルエンザウイルスは、通常、人に感染することはありませんが、感染した鳥に濃厚接触をした場合には、きわめて稀に人が鳥インフルエンザウイルスに感染することがあります。
- 保健所では、鳥インフルエンザが発生した場合、人への感染拡大を防止するために鳥に濃厚接触のあった方に『健康調査』を実施します。
- 発生後すぐに健康調査が行えるよう、
日頃から『従事者名簿（農場従事者の健康調査リスト）』を作成しておきましょう

鳥インフルエンザが発生した際の調査の流れ

- (1) 農場で鳥インフルエンザが発生
農場代表者は保健所に『従事者名簿（農場従事者の健康調査リスト）』を提出してください。
- (2) 名簿に基づき、鳥に濃厚接触者の健康状態を確認します。
※発熱、呼吸器症状のある方は、保健所経由で指定病院への受診をご案内します。
※状況に応じて…
咽頭又は鼻腔ぬぐい液あるいは血清の採取を行う場合があります。
発症予防のために抗インフルエンザ薬を投与（1日1回、10日分）する場合があります。
- (3) 濃厚接触者は、毎日の体温、症状等を記録してください。
※最終接触後から10日間
※経過観察中に発熱、呼吸器系の症状が出た場合は、保健所に連絡してください。

【問合せ】

豊田市保健所 感染症予防課

電話：0565-34-6180

FAX：0565-34-6929

【鳥インフルエンザ Q&A】

Q：鳥インフルエンザとは？

A：A型インフルエンザウイルスによる鳥の感染症を鳥インフルエンザといい、人やその他の動物に感染した場合も鳥インフルエンザと呼ばれます。

鳥インフルエンザウイルスは、自然界においてはカモ類などの水鳥を中心とした鳥類が腸内に保有しています。鳥インフルエンザのなかでも、ニワトリに感染させた場合に、高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザといいます。

Q：鳥インフルエンザの感染ルートは？

A：通常、人に感染することはありませんが、濃厚接触をした場合にはきわめて稀に感染することがあります。患者の多くが、家きんやその排泄物、死体、臓器などと接触があったことが報告されています。

また、人から人に感染するのはきわめて稀であり、感染の事例は、患者の介護等のため長時間にわたって濃厚な接触のあった家族等に限定されています。

Q：鳥インフルエンザに感染した場合は？

A：人が感染した場合、1～10日の症状のない期間があった後、高熱、咳などの症状を示します。きわめて稀に、急激に全身の臓器が異常な状態になり、死亡することもあるため、発病早期に抗インフルエンザ薬による治療や症状に応じた治療を行う必要があります。